

 群馬県立県民健康科学大学

看護学教員 養成課程

Education Program for Nursing School Teachers

2023



看護学教員養成課程

Education Program for Nursing School Teachers

科学的根拠に基づく看護学教育の実践に必要な知識・技術・態度を修得し、看護とその教育の充実、発展、革新に向け寄与する人材の育成を目指します。



学長挨拶

柏倉 健一 Kenichi Kashikura

人生100年時代とも言われる現代の長寿社会は、優れた保健医療人材によって支えられます。なかでも、患者さん一人ひとりに寄りそう優れた看護人材の養成は、地域にとって喫緊の課題のひとつといえます。本学では、学部教育や大学院教育を通じて看護人材養成に取り組む一方で、看護学教員養成課程を開設し、看護師養成校の教員養成を行っています。この課程は、平成24年から、社会貢献を行う本学地域連携センター事業の一環として実施しているもので、開設から10年が経過しました。これまでに、計163名の修了生を送り出しています。修了生は地域の看護師養成機関や医療機関へと戻り、看護師養成校における教育や病院での院内教育などで活躍しています。本課程を修了することは、修了生一人ひとりにとって、やりがいのある人生への大きな一歩となることでしょう。

本学は、看護教育学が専門の杉森みどり初代学長のころから、日本の看護教育をリードしてきました。こうした伝統のうえにたち、本課程は日本の中でも特色ある教育プログラムとなっています。カリキュラムは、理論から実践まで講義、演習、実習が緻密に配置されていて、本課程で研鑽することで、教員・教育者としての実力とともに、大きな自信を持つことができます。課程の修了が近づいたところに行われる公開授業では、自信をもって教育している姿を毎年見ることができ、皆が修了にむけてたくましく育っていることを感じています。本課程を修了すると、厚生労働省による専任教員養成講習会修了者として認定され、看護師養成校での活躍の道が大きく開けます。また、本課程は、本学の大学院博士前期課程のキャリア開発コースとも連携がはかられており、本課程修了後にさらに修士の学位へとステップアップを目指すこともできます。このような本課程は、公益財団法人大学基準協会による大学認証評価においても、きわめて高い評価を受けています。

前橋市にある本学では、学部学生、大学院学生、教職員とともに、家庭的な雰囲気の中で学ぶことができます。看護人材養成への高い志をもつ皆さん、私たち群馬県立県民健康科学大学と一緒に学んでみませんか。

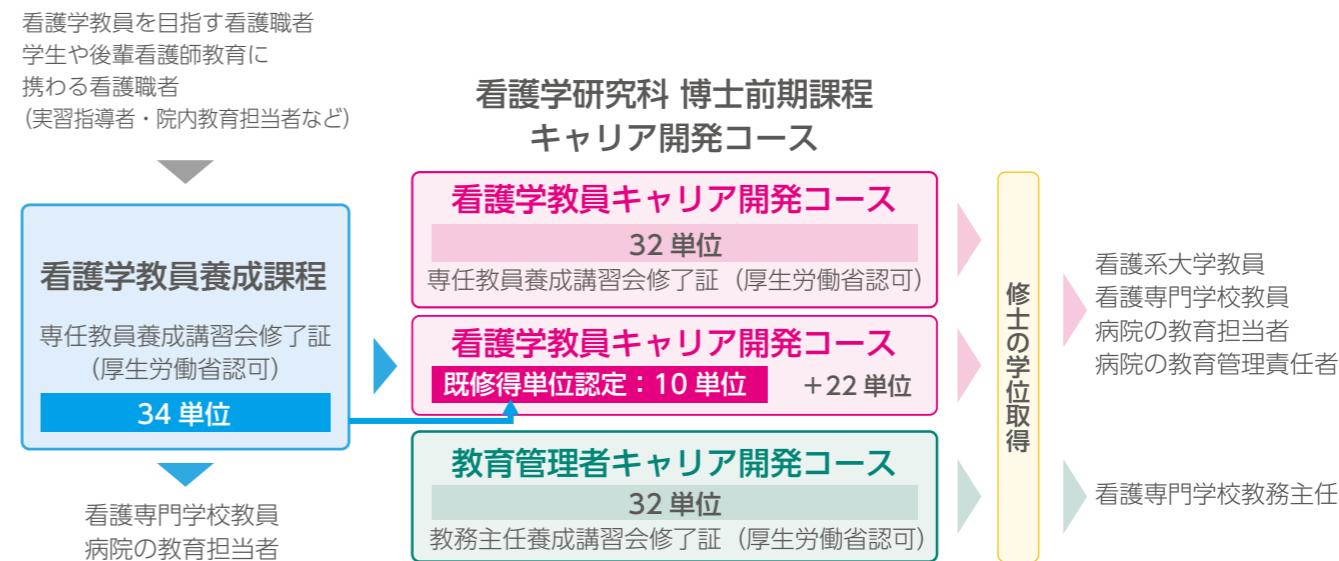
特色

群馬県立県民健康科学大学看護学教員養成課程は、2012年に大学の地域連携センター事業として開設され、10年が経過しました。本課程は、大学の教育理念に基づき独自の統合カリキュラムを編成し、教育を展開しています。本課程の最大の特徴は、**大学看護学部の看護基礎教育と連動**している点にあります。看護学部がバックアップ体制を整え、大学の学習環境を最大限に活用して、実際の看護基礎教育の現実を身近に感じられる**ダイナミックな授業**を展開しています。これにより、本課程生は、学習した知識と教育実践とのつながりを持ちながら、1年間学習することを通して、**看護基礎教育・看護継続教育の実践に必要な能力**を着実に修得しています。この能力は、**看護学教員を目指す看護職者**だけでなく、病院の実習指導者や院内教育担当者など、**学生や後輩看護師教育に携わる看護職者**にとって教育実践上の基盤になります。

看護学教員養成課程のあゆみ

- 2012年 4月 群馬県立県民健康科学大学地域連携センターに開設される。
- 2018年 4月 大学院看護学研究科博士前期課程「キャリア開発コース」開設に伴い、大学院への進学の手がけが開かれる(10単位を既修得単位として認定)。
- 本課程は、厚生労働省による専任教員養成講習会の認定を受けています。
- 本課程は、厚生労働省教育訓練給付金(一般教育訓練)講座の指定を受けています。
- 「キャリア開発コース」
大学や専門学校など看護基礎教育機関の看護学教員として必要な教育実践力、または、教育管理責任者として必要な組織運営力を担える人材の養成を目指すコースです。
- 2019年 公益財団法人大学基準協会による**大学認証評価**において、**極めて高い評価**を受けました。

看護学教員養成課程と看護学研究科博士前期課程(キャリア開発コース)のつながり



キャリア開発コース
5年以上の実務経験のある看護職者のキャリア・ディベロップメントに向け、看護職者個人が担う教育活動あるいは教育組織の運営に必要な能力の修得を目指します。研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で学位論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが修了要件です。

授業科目と担当教員

分野	科目名	単位数	時間数	担当教員	4月	5月	6月	7月	10月	11月	12月	1月
基礎分野	看護実践と倫理	1	15	金谷悦子 高橋裕子								
	教育実践と倫理	1	15	金谷悦子 高橋裕子								
	情報と教育	1	15	狩野太郎 非常勤講師								
	教育の原理	1	15	非常勤講師								
	教育評価論	1	15	非常勤講師								
	青年期の発達と学習	1	15	垣上正裕 非常勤講師								
専門分野	看護の本質と専門性Ⅰ	1	15	山下暢子								
	看護の本質と専門性Ⅱ	1	15	高橋裕子								
	教員と学生の理解	1	15	山下暢子 河内直美								
	看護学教育制度論	1	15	山下暢子 服部美香 河内直美								
	看護学教育課程論Ⅰ (カリキュラム編成の基礎)	1	15	山下暢子 高橋裕子								
	看護学教育課程論Ⅱ (カリキュラム構造の理解)	2	30	高橋裕子 非常勤講師								
	看護学教育課程論Ⅲ (カリキュラム編成の実際)	5	135	高橋裕子								
	看護学教育授業展開論Ⅰ	1	15	非常勤講師								
	看護学教育授業展開論Ⅱ (講義)	5	120	松田安弘 高橋裕子						教育 実習		
	看護学教育授業展開論Ⅲ (演習)	3	90	松田安弘 高橋裕子								
	看護学教育授業展開論Ⅳ (実習) ※	3	90	松田安弘 高橋裕子						教育 実習		
	看護学教育評価論	2	45	服部美香								
看護学教育研究 (研究成果の活用)	2	45	松田・宮崎 上山・清水 河内・高橋									
看護学教育組織運営論	1	15	横山京子 非常勤講師									

※カリキュラム改正に伴い、2021年度より時間数を変更しています。

【主な授業担当教員】

教授 狩野太郎、松田安弘、宮崎有紀子、山下暢子、横山京子
准教授 金谷悦子、上山真美、清水裕子、服部美香
講師 垣上正裕、河内直美、高橋裕子

【教育担当者】高橋裕子

本課程では、大学看護学部教員を中心に授業を提供しています。また、専任の教育担当者が1年間の学習過程をサポートしています。

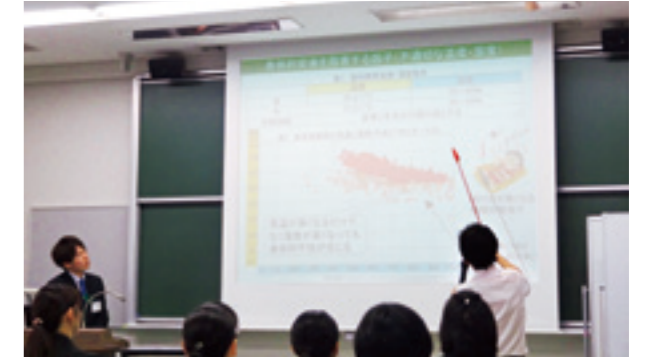
※看護学教育授業展開論Ⅱ・Ⅳでは、授業担当教員の指導により、大学、専門学校で教育実習を行います。

授業の様子

看護学教育授業展開論Ⅰ グループワーク



看護学教育授業展開論Ⅱ・講義 模擬授業



看護学教育授業展開論Ⅱ（講義）では、看護学の講義の特徴、授業設計とその展開について学習します。また、看護学部学生に提供されている授業を参加観察します。その後、看護学教育課程論とこの科目の学習成果を基に、実際に講義の授業設計・模擬授業を行います。

看護学教育授業展開論Ⅲ・演習 模擬授業



看護学教育授業展開論Ⅲ（演習）の講義を受けた後、看護学部学生に提供されている授業をその演習の前提となる講義も含めて参加観察します。その後、看護学演習における「教授＝学習活動」の特徴、学生の主体的学習を促すための授業設計について学習します。また、この学習成果と教育実習での経験を基に、実際に技術演習の授業設計・模擬授業を行います。

2023年度 入学者選抜の概要

募集人員	20名
修業年限	1年間(12ヶ月)
選抜方法	「面接」「小論文」書類審査
試験会場	群馬県立県民健康科学大学
第1次出願期間	2022.10.11～11.30
入学試験料	8,000円
第1次入学試験日	2022.12.15
合格発表日	2022.12.21

第2次出願期間	2023.1.11～2.3
第2次入学試験日	2023.2.16
合格発表日	2023.2.22
授業料	250,000円(県内) 300,000円(県外)

※詳細については、本学ホームページをご確認ください。
 ※2次募集は、上記日程による入学者選抜の結果、入学手続者が募集人数に達しなかった場合に行います。

主な年間スケジュール

入学式	4月5日
授業開始	4月11日
公開授業	7月27・28日
夏期休業	8月8日～9月30日

教育実習	10月17日～11月18日
冬期休業	12月26日～1月4日
公開授業	2月2日
修了式	3月24日



在校生の声

「看護の楽しさを伝えたい」と思い、教員になることを決意し、准看護学校で勤務して5年目になります。臨床実習指導者としての経験はあるものの、看護師を目指す人を育てるということは経験がなく、日々学生と接する教育活動の中で、「こんな時はどうすればよいだろう?」「何が正解だったのか?」「本当にこれでよかったのだろうか?」と、指導や教育することの意味を考える機会が多くなっていきました。そして、大きな責任を伴う教員という仕事を、自分らしく自信を持って学生と接し、共に成長し続けたいと思い、この看護学教員養成課程に入学することを決めました。久しぶりに講義を受けて、刺激の多い日々を過ごしています。また、授業の中にたくさんの仕組みやからくりが盛り込まれていて、授業にのめり込む自分がいることに気づかされます。そして、ここで出会った仲間と共に成長できる機会を、研鑽を積む充実した日々を、大切にしていきたいと思っています。

(Y・Sさん)

私は現在、病院に勤務しています。病棟では、後輩指導や看護学生への実習指導、また看護学校で非常勤講師を務めるなど看護教育に携わってきました。3年前に実習指導者講習会で学ぶ機会があり、自分の教えられた経験から教えるのではなく、学生の特性を捉えて効果的な実習につながるスキルや考え方の必要性を学び、学生を支援できるようになりました。しかし、授業の方法は分からないままでした。手探りで授業を行うことが学生に申し訳ないという気持ちはありましたが、どうすればいいのかわからず悩んでいました。今回、看護学教員養成課程で学びの機会を得たことで、自信を持って授業展開ができるようになることを目標に日々学ぶことを楽しんでいます。日頃、患者さんを理解するために、私たちはどんな努力も惜しみません。今度はその対象が学生となり、学生を理解するための発達段階や看護学生特有の課題などを踏まえ、学生が目標を達成できるように教員に必要な知識・技術・態度を修得したいと思っています。また、同じ目標を持った仲間がいる今の環境はとても心強く、学びを一層深いものへとしてくれます。そして、講師の先生方の様々な考え方に触れ、看護学や教育学の奥深さに、感心する毎日です。本課程を終えた頃は、今とは違ったものの考え方や捉え方になっているかと思います。今は、それが何よりも楽しみで原動力となっています。

(R・Tさん)



修了生の声

私は現在、臨床で看護学生の実習指導に携わっています。この看護学教員養成課程で、看護学校の教育の仕組みや考え方、教授活動を学んでから、私自身の実習指導に対する取り組み方が変わりました。講義・演習・実習の繋がりをもった教育の重要性を認識することができました。また、学生が講義・演習で学んだ知識・技術・態度を、実習の中で、対象の特徴と結びつけながら看護を実践していけるように支援する重要性を学ぶことができました。学習した成果を活用して実習指導に携わるとは簡単ではありませんが、学生が目標達成できるよう支援していきたいと思っています。実習指導者として、自己の看護観と教育に対する信念をしっかりと持ち、未来の看護師育成のために、これからも日々自己研鑽していきたいです。

9期生 病院の実習指導者を継続している T・Nさん

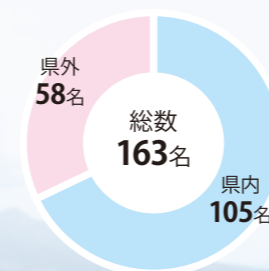
私は、臨床から異動し看護学校の教員を務めた1年間、何を頼りに授業を行えば良いのかも分からず、教科書に書かれていることをただ伝えることに集中していました。この看護学教員養成課程を受講し、授業は学習者と教授者が知的対決を展開する過程であり、教育目標の達成を目指して行うことであると学びました。ここで学んだことが、日々学生と関わる上での道標になっています。今後も、「信念をもって教授活動を行わなければ学生には伝わらない。」をモットーに、学生と知的対決を行っていきたくと思っています。

8期生 看護師養成教育機関の教員を継続している H・Kさん

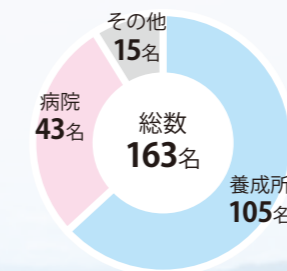


修了生の状況

修了生数

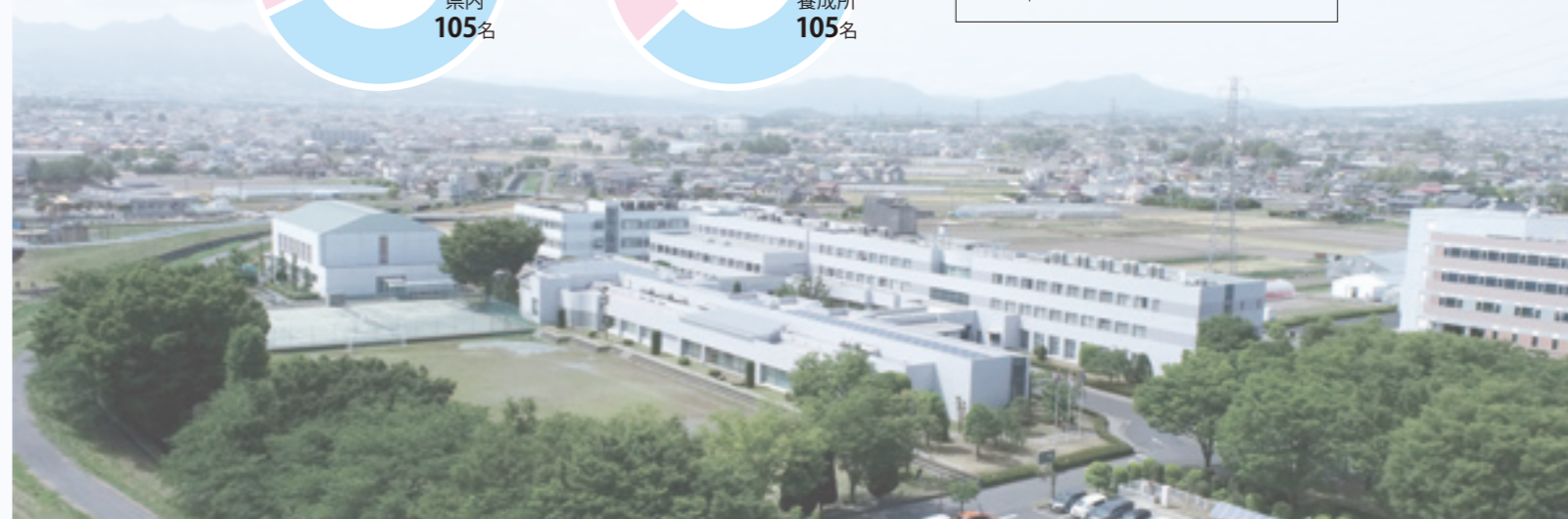


入学時就業先



県外

埼玉県、栃木県、長野県、新潟県
富山県、石川県、福島県、山形県
岩手県、宮城県、青森県、三重県



■ 学生募集要項(願書含む)の請求方法

群馬県立県民健康科学大学看護学教員養成課程までご請求ください。
ホームページからもダウンロードできます。

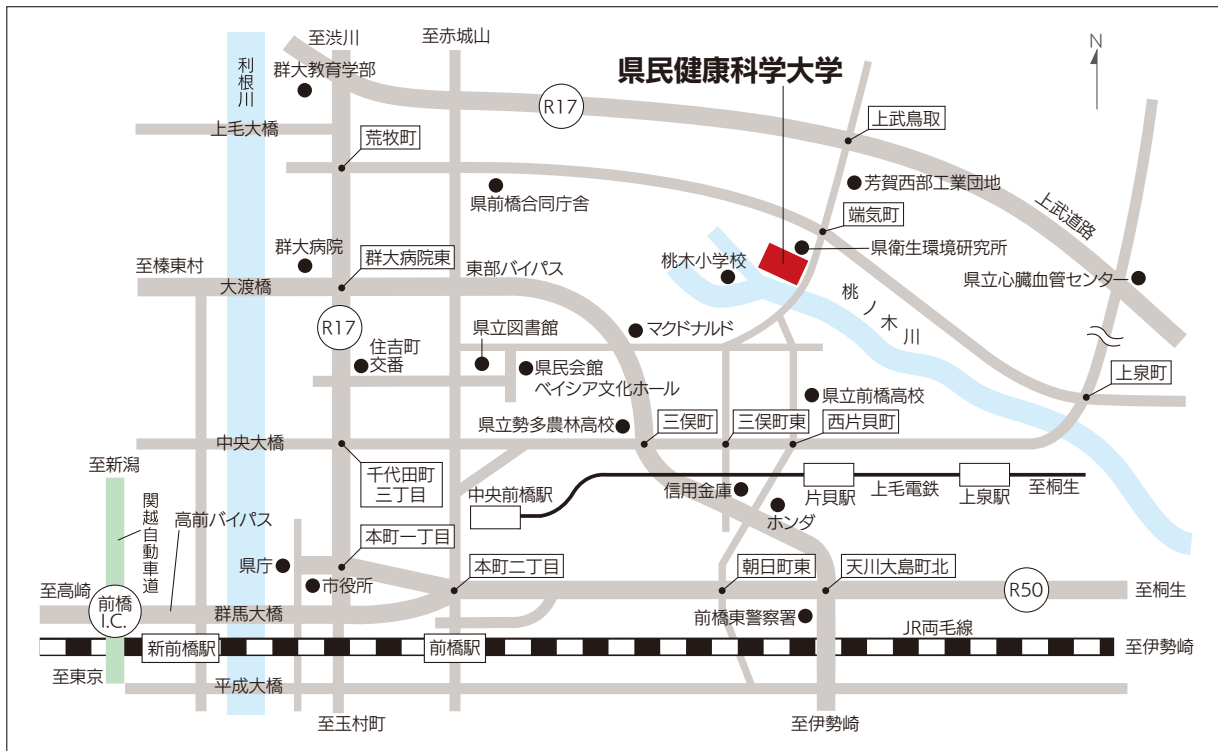


群馬県立県民健康科学大学

Gunma Prefectural College of Health Sciences
看護学教員養成課程



〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-1211 Fax.027-235-2501
URL <https://www.gchs.ac.jp> E-mail: kyouinyousei@gchs.ac.jp



access

[公共交通機関]

- JR「前橋駅」北口6番乗り場、永井バス小坂子、または荻窪公園行き「県民健康科学大学前」下車
- 上毛電鉄「片貝駅」から徒歩約15分

[自動車]

- 関越自動車道前橋I.C.から約20分